禁転載複製

2023 年度　ビルクリーニング技能検定

3 級　学科試験問題

１．試験時間　60 分

２．問題数　　25 題　　A 群（真偽法 25 題）

３．注意事項

(1)携帯電話、腕時計型端末の使用は禁止します。(電源は予め切り、バック等にしまって下さい)。

(2)机上に受検票及び筆記用具以外のものを置いてはいけません。

(3)電子式卓上計算機、その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。

(4)試験官の指示があるまで、この表紙を開けてはいけません。

(5)試験官の指示に従って、試験問題のページ数を確認してください。もし、異常があった場合には、黙って手を挙げて下さい。

(6)解答用紙はマークシートです。必ず鉛筆又はシャープペンシルを使用して下さい。

(7)解答用紙には、等級、受検番号、氏名を必ず記入し、受検番号の欄は、受検区分と受検番号を必ずマークして下さい。

(8)試験官の指示に従って、試験を開始して下さい。

(9)問題は、A 群（真偽法 25 題）の 25 題です。

①真偽法は、問題の内容が正しいか誤っているかを判断し、解答用紙に正か誤のどちらか一つを記入して下さい。

②解答用紙の注意事項を必ず確認し、A 群と B 群の解答欄を間違わないように記入して下さい。

(10)試験中、質問があるときは、黙って手を挙げて下さい。ただし、漢字の読み方を含めて、試験問題の内容についてはお答えできません。また、退室後は試験が終了するまで再入室ができません。

(11)試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。試験開始後 30 分間は退出できません。

(12)試験中にトイレに行きたい場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。

(13)試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、試験官の指示に従って下さい。

(14)試験終了後、解答用紙は提出して下さい。問題用紙は持ち帰って下さい。

(15)試験問題の解答に当たり適用すべき法令、基準等は、2023 年 4 月 1 日現在で施行されている内容に基づくものです。

■Ａ群（真偽法）

1．タフテッドカーペットは機械織りの代表的なものである。

2．ほこりや汚れがあるところには、カビが発生したり、ダニが繁殖することが多い。

3．清掃作業は、常に建築物全体の環境を考えながら実施する。

4．必要以上の洗剤・薬剤は使用しない。

5．脚立の開き止め金具は、支柱と床面の角度を 45 度に安定させる金具である。

6．トラップの水が乾燥しても悪臭が発生することはない。

7．リノリウム系床材は、耐水性に優れている。

8．自分が事故防止を心がけるだけでなく、第三者にも配慮することが大切である。

9．タイルカーペットは、繊維素材と裏打ち材とで作られている。

10．幅木の素材は軟質のビニル成形物、木材、石材、ステンレス、アルミニウムなどがある。

11．清掃作業は、目先の異物が処理できればよいといわれている。

12．座敷ぼうきは、南方産のシダの繊維を穂にしたもので、丈夫なので万年ぼうきともいわれる。

13．汚れは、建築物の美観を損ない、建材の耐久性を低下させる。

14．建築物に除じん用マットを設置することで、靴による土砂の持込みは 40％程度防止できる。

15．ステンレスは汚れを放置することで腐食が発生することはない。

16．延べ面積 3,000 ㎡以上の店舗は、特定建築物である。

17．酸性洗剤と塩素系洗剤を混ぜて使用することは危険である。

18．事業活動に伴って排出される廃棄物はすべて産業廃棄物である。

19．労働災害には、人身の傷害を伴わない事故も含まれる。

20. モップは大きく分けると、水に濡らして使用するものと、水に濡らさないで使用するものの２種類がある。

21. 労働災害において、人的原因は不安全な状態にあった物が起因物となる。

22. 建築設備には、防災設備は含まれない。

23. 高所作業を行う場合は、保護帽を着用する。

24. 「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」では、機械の整備台帳を作成し、6 年間保存しなければならない。

25. 衛生器具などへ給水・給湯する器具を水栓という。

2023 年度　ビルクリーニング技能検定

3 級　学科試験問題

＜　正　解　＞

A群 真偽法	
設問	解答
1	誤
2	正
3	正
4	正
5	誤
6	誤
7	誤
8	正
9	正
10	正
11	誤
12	誤
13	正
14	誤
15	誤
16	正
17	正
18	誤
19	誤
20	正
21	誤
22	誤
23	正
24	誤
25	正